



大明小学校

校長室から

令和元年6月24日

No. 15

文責 校長 飯久保一男

あいさつについて

富山県青少年育成富山県民会議が、あいさつについて小・中学生に募った作文コンクールで優秀作品に選ばれた中学生が書いた作文です。



宝物

富山市 中学1年 岩田 理子

母が弟を車に乗せて毎日同じ道で保育園に送るようになってしばらく経ったころのことでした。弟はいつも同じ時間に家の前でタバコを吸っているおじいさんが気になりました。何日も見ているうちに、知り合いになったような気がしたのでしょうか、ある日突然、車の窓を開けて、

「じいちゃん、おはよう。」

と声を掛けたのでした。それからは毎日、そのおじいさんにあいさつをするようになり、おじいさんも笑顔で弟に手を挙げて応える、ということが日課のようになっていきました。ある日、いつものようにおじいさんの家の前をあいさつをして通り過ぎようとしたところ、おじいさんが慌てた様子で母の車を呼び止め、家の中へ行き、また戻って来ました。おじいさんは奥さんを連れてきました。奥さんは母に軽くあいさつをすると、こんな話をしてくださいました。

「最近うちの主人、タバコを吸い終わって家に入って来るとき、とっとうれしそうな顔をしてるのよ。

私、それが気になって聞いてみたら、『ワシ、宝物を拾ったんだ。』って言うの。どういうことか詳しく聞いたら、お宅の息子さんが、毎日うちの主人に手を振ってあいさつしてくれるって言うじゃない。

『じいちゃんって呼んでくれるんだ』って。私も一度でいいから息子さんに会ってみたくて、主人にその車が来たら呼び止めてってお願いしておいたの。ごめんね忙しいのに。」

と話し終わったあと、弟を一目見て、とっとうれしそうな表情で、

「あなたがうちのじいちゃんに元気をくれる子なのね。いつも気にかけてくれて本当にありがとう。これからは、ばあちゃんにも少し元気を分けてくれる？」

と言って弟をぎゅっと抱きしめました。弟は

「ばあちゃんにもあげるよ。」

と嬉しそうでした。それからというもの、たまに奥さんも加わるあいさつの毎日が始まりました。次第におじいさんの家族とも仲良くなり、家へ遊びに行ったり、夏にバーベキューをしたりと会う回数も増えていきました。 …後略…

4月以来、私も子どもたちの登校を学校の北側の横断歩道や甲西中の北側の信号のところで迎えています。毎朝立っていると気づくのが、同じ人が同じ車で同じ時刻に通っていくことです。そういう方々は、小学生が横断することをわかってくださっているので、通り過ぎてしまっても支障のない手前からスピードを緩めて止まってくださいます。ありがたい限りです。子どもたちも、止まってくれた車の方に、お礼を言って、さわやかな朝のひとつときとなります。



◇◇◇今日から金曜日まで児童会による「あいさつチャンピオン」取り組み週間です◇◇◇

2019年度 南アルプス市立大明小学校 校長通信【家庭数配付】

さて、子どもたちとのあいさつです。今年の児童会活動の柱の1番目に **笑顔いっぱいあいさつ活動** が掲げられています。私が笑顔いっぱいになるのは、

A 顔をあげて、私と目を合わせて、笑顔で「おはようございます」とあいさつをする子どもです。他にも

B 元気な声で「おはようございます」とあいさつをする子ども

もかわいいなあと思います。中には、

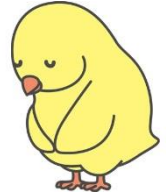
C あいさつはしても顔をあげない子（帽子をかぶっていますので、ひさしで顔が見えません）

D 小さい声でうつむき加減にあいさつをする子

そして、

E あれ？ この子あいさつしたかな？ と思う子…

もいます。私の接し方の拙さもあるとは思いますが、Eのタイプの子には「ちょっとお…」と誤ってしまいます。逆にAやBのタイプの子のあいさつは、私も気分よくなりますが、そのあいさつをした子ども気分がいいのではないかと思います。



表の富山の中学生の作文にもあるように、あいさつはコミュニケーションの第一歩です。最初のあいさつがその後のその方とのつきあいに大きく影響することがあります。4月5日（金）と8日（月）の朝、私が体験したことです。

4月5日（金）1年生もまざって初めて集団登校をする日。甲西中の北の信号のところに立って子どもたちの登校を見守ってくれている方がいた。私は、児童玄関に近い方の横断歩道のところにおいて、子どもたちとあいさつを交わしていた。子どもたちは、赴任したばかりの校長にちょっと元気のないあいさつが多かったように記憶している。子どもたちの登校の波が途切れたので、信号で立ってくれている方にあいさつをしに行こうと思ったが、すでになかった。急いで信号まで行き、見回すと北側の道を歩いていく姿があったので、信号を渡り、追いかけていった。

「おはようございます。大明小学校の校長になりました飯久保といいます。子どもたちの見守りをありがとうございます。」

とあいさつをした。河口昌夫さんという方だった。河口さんは、

「校長先生がわざわざ追いかけてきてくれてあいさつをしてくださるなんて…」

と驚いていた。河口さんは見守り隊にも所属していないボランティアだった。

4月8日（月）集団登校2日目。横断歩道の方を切り上げて、信号の方へ行き、河口さんにあいさつをした。河口さんいわく

「校長先生がわざわざ追いかけてきてくれて、あいさつをしていただいたことは、妻に話し、日記に書きました。

雨の日でも、ここに立とうと思いました。」

とのことだった。それ以来、私が出られない日はあったが、河口さんが朝、立ってくれていない日は一度もない。朝、子どもたちの顔を見てあいさつを交わすのも楽しみの一つだが、河口さんとあいさつを交わし、話をするのも楽しみの一つになっている。

